

児童・幼児教育学科 主要科目の特長

【発達心理学】

保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、保育者として必要な発達を捉える視点について学ぶ。保育者が発達の事象を理解するためには、発達段階論の観点のみならず、発達過程論の視点や生涯発達論的な視点などが必要となるため、それらについて概観する。また、近年話題として取り上げられることが増えた発達障害など、個性的な発達様相を示す幼児・児童の発達についても学ぶ。

【教職概論】

本講義は、教師をめざす学生に対して、教職の専門性について学生自ら思索させると同時に、自らの教師という職業への適性と情熱を向上させることを目的としている。そのため、単に教職についての知識を得るためだけでなく、教員や他の学生と意見交換することにより、専門性を生かした教職、人間教育に根ざした教職の在り方について考えることを求めている。授業内容として、教職の意義、教員養成、学校の組織と運営、教師の仕事、教員の任用・服務・研修などを講義している。

【教育制度論】

本講義では、教育法や教育行政に始まり学校経営や教育内容に至るまで日本の教育制度に係る基本的な概念や重要事項について、その歴史的経緯や近年の政策動向、諸外国での事例も交えつつ概説する。また、公教育の理念がどのような形で私たちの生活に結実しているか等、理論上の意味を学校現場における具体的な取り組みに引きつけて理解を深めることを目指す。

【国語科教育概論（書写を含む。）】

国語科教育の目標である「言葉による見方・考え方」を働かせ、「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」を育成するための授業づくりについての基礎理論を学修する。授業は、国語科教育の目標及び内容、指導計画の作成と内容の取扱い、さらに授業づくりの基本的要素としての教材研究の内容・方法等で構成する。授業方法としては、受講者が主体的に学修できるよう、「読む」「書く」「話し合う」「発表する」などの多様な言語活動を取り入れ、自分の考えを広げ、深めることができるようにする。

【算数科教育概論】

小学校の算数科授業を行うための基底となる算数科教育に関する基本的な内容について学ぶ。授業は、我が国の算数科教育の歴史や指導上の課題、小学校算数科の目標及び内容、各学年の目標及び内容、指導計画の作成と内容の取扱い、これからの算数科教育の方向性から構成している。これらの授業を通して、今日求められている算数科教育の在り方、指導者の役割について考えを深める。

【理科指導法】

小学校における教科「理科」の授業づくり及び指導方法に関する基礎・基本を、演習を通して学修する。具体的には指導する内容の系統性や教材化の方法、児童が主体的に問題を解決する授業づくりの在り方、授業の形態や評価方法などを体験的に習得する。また、一つの単元の学習指導案を実際に作成する活動も行う。さらに、それをもとに模擬授業を行い、授業研究の在り方についても学修する。

【社会科指導法】

本授業は、小学校教員として必要な社会科の授業設計力および授業実践力の育成を目的として、小学校社会科の授業づくりに関する基礎的事項を学修する。具体的には、「公民としての資質・能力の基礎」を育成するための教材の選定方法、目標・評価の設定の仕方、授業の構成方法等を扱

い、授業づくりの基本的な考え方の習得を図る。また、単元レベルの小学校社会科学習指導案の作成・模擬授業を実施し、実践的な力の育成を図る。

【図画工作】

本授業は、表現活動、制作活動を実際に行い経験することを通して図画工作料の教科内容を学び、児童の視点と教師の視点をクロスさせながら図画工作の学習活動の成立について学ぶことを目的とする。授業は演習形式で行い、図画工作における材料・道具を体験し、共同作業による「造形遊び」などを体験する。そして、授業内において、随時、図画工作料の授業実践例、美術の広がりや映像資料等で紹介し、ディスカッションを行うことを通して今日的な図画工作料の授業の在り方を学習するものである。

【体育】

幼児体育及び学校体育を展開する上での概念や動きのポイントを学修。また、実技を通して幼児期・児童期に身に付けるべき、運動技能の基礎・基本さらには安全について探っていくものとする。さらに、幼児期から児童期における動きの系統性を中心に、青年期・壮年期へと成長・発達の過程をふまえた体育の理論的追求と生涯体育の在り方等について、まとめていくこととする。

【器楽基礎】

子どもの感性と表現を豊かにするために、幼児教育・小学校教育の現場で必要とされる、ピアノ演奏技術を修得することを目的とする。ピアノ演奏のための基礎技術を身に付けるとともに、ピアノ実技演習を通して音楽的な基礎知識（コードや簡単な楽典等）を学び、表現力を養うことを目標とする。習熟度によって3つの段階（グレード）に分類し、個々の演奏能力に応じた課題曲を学習する。

【道徳教育指導法（初等）】

本講義では、小学校学習指導要領解説道徳編をもとに特別の教科：道徳科としての目標、意義を理解し、学校教育活動全体としての幅広い多面的・多角的な見方考え方に即した、道徳カリキュラムへの理論的理解を深める。

教科書教材をもとにし、「道徳的判断力」「道徳的心情」「道徳的实践意欲と態度」への道徳性構築に向け、効果的な道徳科授業の教材研究、評価、指導案作成等、模擬授業を通して、理論と実践の学びの習得を目指すことを目的とする。

【子どもの家庭福祉Ⅰ】

近年、児童虐待などの子どもをめぐる問題が多発し、社会問題としてクローズアップされている。特に、最近の社会情勢の変化は、家庭生活に大きな影響を与え、児童福祉に対しても同様に影響を及ぼしている。本講義では児童虐待といった問題を含め、児童福祉の理念、仕組み、実施サービス等について概説し、児童福祉の体系を理解していく。さらに、福祉の現場で対人援助に当たろうとする者に必要とされる基礎的な考え方や知識、態度についても習得する。

【保育内容総論】

保育の基本と保育内容・方法について理解することを目的とする。領域毎に示される保育内容を総合的に捉える視点を養い、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもの理解や保育方法について学び、発達過程に即して子ども理解を深める。また、総合的に指導・援助を行う実践的な力を習得するために、具体的な保育活動事例について演習形式で学ぶ。さらに、各領域の視点を生かしながら保育を実践する際の留意点について学び、具体的方法について理解を深める。

【障害児保育】

この科目は、障害児やその他の特別な配慮を必要とする子どもに焦点を当て、保育の仕組みや支援体制について理解を深めることを目的とする。そのため、障害児保育の基盤となる理念や歴

史的変遷、さまざまな障害の特性と援助、そして家庭への支援や関係機関との連携・協働などについての知識を身に付けること、さらに、知識を実践につなげるため、設定された事例について、保育現場における支援計画を作成することを目標とする。

【子育て支援演習】

国による子育て支援施策の現状と課題、現代の子育て家庭を取り巻く社会状況と子育ての現状を概観する。次に保育の専門性に基づく子育て支援の理念とその機能・役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮した子育て支援のあり方や方法について学ぶ。アクティブ・ラーニングによる学生の主体的な活動や施設見学等を通じて、多様な子育て家庭に対する支援の実際について学んでいく。

【幼児と人間関係】

この科目は、幼児を取り巻く社会状況の急速な変化およびその諸課題を踏まえたうえで、幼児期の人間関係の発達とその援助について学ぶことをねらいとする。人と関わる力の基盤となる身近な大人との愛着形成や、「自立心」「協同性」といった、幼児の人と関わる力の育ちを乳幼児の発達の姿とあわせて学び、発達にふさわしい教育および援助について事例検討やディスカッションを通して理解を深める。

【発達障害教育総論】

発達障害教育総論では、発達障害者支援法等に示される発達障害について理解を深め、発達障害児の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるための適切な指導及び必要な支援について学ぶ。具体的には、通常の学級に在籍する自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠如多動症、その他これに類する脳機能の機能不全の特性等を理解し、一人一人の合理的配慮の提供について考える。

【知的障害者教育】

知的障害者教育では、知的障害のある児童生徒等に対する教育の内容、方法、評価等を示す知的障害特別支援学校学習指導要領を基準として、知的障害特別支援学校において編成される教育課程について理解するとともに、その意義や編成の方法を理解した上で、カリキュラム・マネジメントについて実践する。具体的には、知的障害特別支援学校の教育における教育課程とその特徴及び編成の在り方並びに授業の展開について学ぶ。

【肢体不自由者指導法】

肢体不自由者特別支援学校における教育は、基本的には通常学校の教育課程に準ずるが、身体の運動動作に困難があるため、指導法の工夫・配慮が不可欠である。肢体不自由者指導法では、肢体不自由者の特性や発達の過程を踏まえた各教科等について取り上げるとともに、自立活動及び自立活動の指導と関連付けた具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を学ぶ。

【教職実践演習（初等）】

大学4年間で学んだ教職の意義、教育の基礎理論、教育課程及び指導法、児童・生徒指導等に関する知識・技能と教育実習等で得られた教科指導力や児童・生徒指導力等実践力との更なる統合を図り、子ども理解や教師の役割機能に対する理解を基盤とした確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその定着を目的とする。主な授業の形態は、講義や演習、発表、ロールプレイ等を組み合わせ、実際の教育現場を想定した教育課題を取り扱う。